

市政記者各位

平成 29 年 10 月 5 日
福岡市博物館

福岡市博物館企画展示 500 回記念
市美×市博 黒田資料名品展関連講座

ここまでわかった！^{しおがま}塩竈・松島図屏風の謎 開催します。

このたび、福岡市博物館では、所蔵資料や市内外の文化財を学芸員の設定したテーマに沿って紹介する企画展示の開催が、開館以来 500 回目を迎えたことを記念して講座を開催します。是非周知していただくとともに、取材いただきますようご案内いたします。

概要

日時：平成 29 年 **10 月 15 日（日） 14:00～15:30**

※開場は 13:30、事前申込不要・先着順（定員 130 名）

会場：福岡市博物館 1 階 講座室 1

講師：宮田太樹（福岡市美術館学芸員）、宮野弘樹（福岡市博物館学芸員）

テーマ

福岡藩主黒田家に伝来し、日本三景のひとつとして知られる名勝・松島周辺の景観を描いた「塩竈・松島図屏風」（福岡市美術館所蔵・黒田資料）。この屏風がいつ描かれ、どのように黒田家へ伝えられたのか？…福岡市美術館と福岡市博物館の学芸員が、美術と歴史それぞれの視点から、その謎に迫ります。

関連展示開催中！

「塩竈・松島図屏風」は、現在、福岡市博物館 2 階・企画展示室 2 にて開催中で、記念すべき企画展示 500 回目となった「市美×市博 黒田資料名品展Ⅳ 藩主夫人が愛した文物」（平成 29 年 11 月 5 日（日）まで）にて展示中。本講座は、この企画展示の関連講座として、屏風を所蔵している福岡市美術館と共同で開催するものです。



塩竈・松島図屏風（右隻・松島部分）

■お問い合わせ先

福岡市博物館 学芸課 米倉、宮野、高山 管理課 中山、岩佐
〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1 電話 092-845-5011 FAX845-5019